

二期目も、福祉充実にまっすぐ 頑張ります

7,993票もの力をいただき、県議として二期目を迎えることができました。これまでも取り組んできました労働・福祉・環境・人権などの課題が、一歩でも前進できるよう、4年の任期をしっかりと努めてまいります。

さっそく6月議会で一般質問に登壇し、児童虐待問題、貧困対策、県営住宅の問題など取り上げました。



あらためて「体罰ゼロ」へ

虐待のない社会を作ろう

殴る、ひねる、縛るといふ体罰が、「しつけのための愛のムチ」として許される考えが、これまで広く存在していました。

千葉県の子供虐待死事件でも、父親は「しつけだった」と主張していると報道されています。体罰を伴うしつけが容易に虐待にまでエスカレートすることは、数多くの虐待事件から明らかになっています。

私は、「体罰によらない子育て」の技術を速やかに普及啓発することが必要だと考えています。「子どもの事を思えば、時には叩いてでもしつける」というのは、正しく聞こえますが、実は、しつけを体罰によらない方法で行う術を知らないから、誰も教えてくれなかったからに他なりません。子どもの虐待死報道を目にしたのです。子どもを虐待死にさせるために、体罰によらない子育て技術を、誰しもが容易に学ぶことができる社会を創っていかなくてはなりません。



2019年7月
発行
県議 岩切たつや
住所 880-0942
宮崎市生目台東
1丁目6-8
電話0985-89-5158
fax 0985-86-8778

人口減少時代、公営住宅のコミュニティ維持を

過去に市内の丘陵地が開発され、大型団地が形成されました。その団地では一時期の人口増加が終息し、公営住宅でも、高齢化や、独居世帯の増加、若者世帯の減少、空き室の発生などで、コミュニティの活力が失われつつある課題があります。いまや地方の重要課題は人口減少対策です。今議会でも、人口減少対策基金を設置して、様々な施策を展開していくことが提案されました。そのなかで私は、公営住宅におけるコミュニティはどのように維持されるべきか、質問を行いました。

答弁で、県内の公営住宅は約八六〇〇戸で、入居率は八八%。約一〇〇〇戸の空き室があるそうです。入居者の年齢構成での高齢化率は二二・七%とのこと。入居募集に対する応募倍率は二・四倍、当選後の入居辞退が八%程あるとのことでした。

コミュニティ維持の質問に対し県土整備部長は、集会所に児童クラブを併設したり、子育て支援センターを併設するなどの先進事例を参考に集会所活用を促進すること、他県で取り組まれている空き室を活用した高齢者や子育て世帯支援の事例も参考に、コミュニティ形成をはかる取り組みを検討していくと答弁されました。

また、地域自治会などコミュニティを支える勤労世帯が、世帯収入増を理由に転居を求められる事例はコミュニティ維持上の課題ではないかと質問したところ、県は「明け渡しを求めるときの高い基準に該当した世帯は全体で二四戸。」と答弁。数少ない事例だとしています。私は、人口減少時代に対応した公営住宅政策を考えて、十分に話し合いを行いながら対応するよう求めました。

社会民主党県議会議員

岩切たつやプロフィール

1979年県庁入庁し、児童相談所、福祉事務所等に勤務。その間、労組委員長、PTA会長など労働運動、地域活動に取り組む。

2015年県議選に初挑戦、現在二期目。厚生常任委員会委員長、議運委員など。社民党県連副代表。58歳 家族 妻と子ども 資格 社会福祉士、宮崎



新たな任期、最初の議会便りです。
気を引き締め、引き続き様々な課題を取り上げて、県民福祉の向上に頑張っていきます。
皆さまの県政に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

質問概要

軍備よりの教育・環境へ予算を！
貧困を無くし、安心して生活できる環境を

☆質問☆ (虐待の予防策)

虐待防止プログラムの普及のために、コモンセンスやマイツリーなど、すでに広く定着している手法で支援に取り組み民間団体に業務委託するなど、保護者支援の体制を整える必要があるのではないか。

★答弁 (福祉保健部) ★

法改正で保護者への指導は充実が求められることになった。民間団体への委託を含め、効果的な方法を検討していきたい。

☆質問☆ (子どもの貧困対策)

子どもの貧困対策推進法が改正された。宮崎県子どもの貧困対策推進計画にどう反映させるのか。食の貧困で、偏った食物しか与えられず肥満傾向を示す児童が増加しては。子どもの生活実態を調査研究していくことが大事ではないか。

★答弁 (福祉保健部) ★

子どもの健やかな育ちに資する調査など、法改正の趣旨を踏まえて問題意識を持って研究していく。

■私の意見



虐待増加に対し児相の強化を訴えて、確実に充実してきましたが、それでも虐待は増加する一方。大事なものは虐待予防、そして背景にある貧困の原因を取り除いていくこと。子ども支援



材を確保できるよう適切な試験制度の運用を行っていく。

☆質問☆ (小中学校の冷房設備)

暑い夏が目の前だが、小中学校の冷房装置の状況はどうか。

★答弁 (教育長) ★

県内で昨年三割であったが今年度中には八割になる見込み。宮崎市は教室数が多く、令和三年度までかかると聞いている。

■私の意見

宮崎市では教室数が多いから冷房装置の設置が遅れるという答弁に、県教育委員会の問題ではありませんが、納得しがたい気持ちです。かかる費用は国の補助と、宮崎市の負担となりますが、たくさん



を行っている実践者の方々の疲弊が心配されます。安心して生活できる環境は、人口対策にもプラスになるでしょう。

☆質問☆ (障害者雇用)

昨年、法定雇用率を下回る実態があったがその後の対応は。採用にあたっての工夫は。

★答弁 (人事委員長) ★

採用試験の受験資格を改正し、障がいのある範囲も拡大した。受験しやすい環境を整え、必要な人

材を確保できるような適切な試験制度の運用を行っていく。

〈6月議会の議案〉

◆一般会計補正予算案九六億六千万円余 ◆県税条例の一部改正ほか条例案10件 ◆宮崎県総合計画の変更ほか計画変更等の案件7件 ◆公安委員会委員の任命、人事委員会委員選任同意の人事案件 ◆地方財政の充実を求める意見書、教職員定数改善を求める意見書の採択ほか

〈日常活動スナップ〉



連合宮崎中央メーデーでご挨拶 ↑



吉田前党首 ↑ から激励を受けました



当選を喜ぶ ↓



そのう裕造さんと ↑



延岡高校同窓会 ↑



選挙戦を頑張りました ↑

り、除草剤利用は一定の効果があった。現状では、労働力不足にも対応した有効な手段であると考える。

☆質問☆ (太陽光発電設備)

大規模な太陽光発電設備は、開発の方法によっては景観の問題、土地の防災機能、耐用年数経過後の廃棄処分など環境に心配なこと発生する。適切な対応を行うべきでは。

★答弁 (環境森林部長) ★

他県で条例制定していることを把握している。森林法など関係法令所管の部局で適切に対応しているところ。設備が耐用年数を終えて大量に廃棄されるこ

とが予想され、適正処理のため廃棄物監視員の監視指導を実施している。不法投棄などの不適正処理が無いよう努めていく。

☆質問☆ (会計年度任用職員)

会計年度任用職員制度の導入で、官製ワーキングプアの解消を期待するが、予算上の理由で必要な人員数を抑制されるとの不安がある。制度導入の趣旨を踏まえた対応をするべきでは。

★答弁 (総務部長) ★

現場の業務量実態を把握して、必要なところに適正な人員を配置していく方針である。必要な財源は地方財政措置がなされるよう、国に要望していく。

とが予想され、適正処理のため廃棄物監視員の監視指導を実施している。不法投棄などの不適正処理が無いよう努めていく。

